

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スケッチブック	公表日			令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	スペースを低学年、高学年に分けそれぞれに適した支援を行っている。また中・高校生は小学生とは別の部屋で支援を行っている。	同じスペースでの支援であるため、声の大きさの課題がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	その日のスケジュールや注意事項などは視覚的に分かりやすくしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	学習室をパーティションで区切って対応できるようにしている。利用児の情緒の不安定に伴い、一人になれる配慮をしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎日のミーティングでの利用児の変化についてや、支援会議の意見交換で参画している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	スタッフ全員での評価の開示。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	個別面談及び勤続年数等による研修等を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	2ヶ月に一回程度の外部講師による研修。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	初任者研修、専門研修、管理者研修、全体研修など幅広く行っている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	日々の引継ぎ（お迎え）でのやり取りや電話受付、家庭医調査表等で利用児や保護者の意見を汲み取っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎日のミーティングで意見交換し利用児の変化にいち早く気付くようにしている。また利用児の気になる事や良い所を話し合い作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	アセスメントシート、家庭医調査表、聴カレベル、日々の記録などで確認を行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	月毎の行事を取り入れたり、製作活動、専門的 的活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		学習以外の個別活動（聴力・言語）等の検 討。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	8	0	毎日ミーティングを行い情報共有をしてい る。その日の活動担当スタッフが必ず手順の 説明を行い全員で確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	利用児の帰宅後やその日の活動が終了後振り 返りを行い、次の日のミーティングで共有し ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	8	0	支援後、日々の記録の記入を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動の中で利用児同士の話し合いの場を設定 したりしながら自己決定、行動に繋がってい けるように個別支援計画にも掲載している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	学校との引継ぎや訪問看護による医療ケアの 連携体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	8	0	下校の際に必ず利用児全員の引継ぎを行って いる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等してい るか。	4	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	あいあいセンターとの連携。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	1	7	事業所近くの公園で運動したり、公民館を利用 してレクリエーション等の活動を行ってい る。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課 題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	5	3		家族が参加できる研修や機会を予定している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	8	0	個別面談時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	必ず面談を行い、サービス計画内容の同意を 得て署名捺印をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	口話のみではなく、必ず手話や指文字を交えて視覚的に分かるように説明を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を凶っているか。	6	2	夏祭りへの参加呼びかけなどを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ミーティングにて共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			